飯綱神社三十三年式年大祭

文化伝承館は、飯綱神社の境内にありますが、この神社には33年に一度行われる式年大祭があります。

起源については、はっきりした記録がありません。最近の祭りとしては、平成８年(1996)に大祭が行われました。ちょうど、文化伝承館が開館した年です。そして平成24年(2012)には中年の祭りが行われました。中年の祭りについては、「継」15号に解説があります。

古い記録としては、昭和７年(1932)の大祭のことが、神社の境内に建てられている「大祭記念」の石碑に刻まれています。この石碑は昭和８年(1933) ９月24日に建てられたもので、碑文は元大和田尋常高等小学校長の市川儀平氏が書かれたものとのことです。

大祭の様子は、以下のように描写されています。

☆碑文「（神輿渡御の行列に並ぶ人々は、）**社掌笠川胤臣氏外六名　左大臣笠川壽幸氏　右大臣君塚二四子氏　外ニ稚児二十一名　警固九十一名　金棒引十二名　大祭世話人五十八名　総代三名　縣會議員町村長其他有志　絡繹トシテ引キモ切ラス」**

神輿の渡御行列に並んだ人々は、神職の笠川氏など200名以上に及んだようです。絡繹（ラクエキ）とは、人馬など往来が続くさまです。

☆碑文**「神輿ハ當大祭ノ新調ニ係リ黒漆ノ蓋上ニハ金色ノ鳳凰燦トシテ霊翼ヲ張リ　帽額羅網　颯々ノ風ヲ帯ヒテ麗日ニ輝ケリ」**

この大祭に当たって、神輿を新調したとのことです。神輿の屋根上には、鳳凰が金色に燦然と輝いていたということです。この神輿は、現在は使われておらず、当館ホールに展示してあります。

☆碑文**「神馬ニ跨ル左右大臣ハ　巻纓ノ冠闕腋ノ袍ニシテ剣ヲ佩キ弓箭ヲ帯シ　粛々タル警蹕　喨々タル奏樂　秋天ニ響キテ荘麗言フハカリナシ」**

巻纓の冠（ケンエイのカンあるいはマキエイのカン）は、武官用のかんむりのことで、闕腋の袍（ケッテキのホウ）は、武官の束帯姿の上着のことです。馬にまたがり剣や弓矢を持った武官姿の参列者もいたということで、古代の絵巻物のような姿であったことでしょう。おごそかな警蹕（ケイヒツ＝先払いの声)、明るい音楽が秋空に響き渡り、荘厳で秀麗なことは、ことばでは言い尽くせないほどであったということです。

次回の大祭は、令和10年（2028)の予定です。



大祭記念碑



昭和7年大祭の神輿（文化伝承館に展示）

八千代市文化伝承館だより

令和4年壬寅　旧暦六月

継
Ｋｅｉ

2022．7．1　　No..24

編集
発行　八千代市文化伝承館

〒276-0043　八千代市萱田 460-3

電　話　047-484-9011(郷土博物館)
ＦＡＸ　047-482-9041(郷土博物館)
メール　kyoudo@city.yachiyo.chiba.jp

令和３年度事業報告

令和３年度も新型コロナウィルス感染症の影響下の一年でしたが、そのような中で、９月から主催講座である「紙芝居と昔話の会」を再開し、６回実施いたしました。「本だいすき!の会」の皆様のご協力のおかげです。御礼申し上げます。あわせて、ご参加いただいた皆様にも感謝申し上げます。

また、７月には、千葉テレビの情報番組「お昼の快傑ＴＶ」を当館で収録しました。当館の利用団体である茶道の一花会(いっかかい) のみなさんが、番組パーソナリティーのプリティ長嶋さん、千葉おかみさん会の方々と服部友則八千代市長を、お茶でもてなしてくださいました。番組は８月に放映されました。

今後も、新型コロナウィルス感染症の状況を注視しつつ、館の運営を進めてまいります。そして、さらなる主催講座の再開を目指します。

令和3年度の利用状況

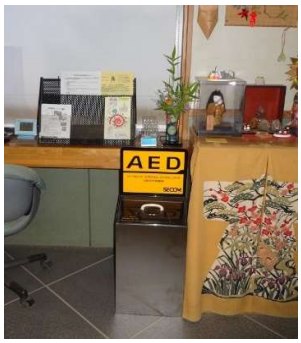
開館日数　226日
主催講座　６回157名　伝統文化団体 365回2,935名　その他の団体 55回1,159名
見学・遊具利用など 1,125名　計5,376名
紙芝居などの館外貸出　３件

刊行物

９月22日(水)　「継」23号の刊行

令和3年度の文化伝承館の主なできごと

７月１日(木)　ＡＥＤ設置
７月16日(金)　千葉テレビ「お昼の快傑ＴＶ」を文化伝承館で収録
９月15日(水)　「紙芝居と昔話の会」第１回を実施。以下、10月20日、11月17日、１月19日、２月16日、３月２日（いずれも水曜日）に実施



AED設置


千葉テレビ収録


紙芝居と昔話の会